

愛南文芸

◆みなみうわ俳句会

蜘蛛の囲を払うや自責の念少し
合歓咲いて母子眠れる峽の墓
何時しかに草に埋れし一軒家
薄紙をはがすがごとく桃をむく
土佐は夏竜馬竜馬の幟立ち
予定表日々書き直す夏休

塵芥流せ流せと梅雨出水
潮騒や初蟬のまだ覚束な
捨て切れぬ思い出秘めて夏帽子
雑用のこなせぬままに梅雨の暮

◆御荘俳句会

風のくるところえらびて風釣屋
寄辺なき風の意のまゝ烏瓜
新涼や石に咲きたる影の花
斜に構へ風を呼びこむ葎簀茶屋

◆西海俳句会

合歓の花独りうとうと夫の夢
いつからの家号で「あんき」風光る

吉本宗司サロンコンサート!

日時 10月9日(土)

18時30分から(開場18時)

場所 御荘文化センター

チケット

一般 2,000円(当日2,500円)
学生 1,000円(当日1,500円)

問い合わせ

吉本食料品店(TEL 73-0125)

「サロンオーケストラ」とは?

吉本宗司

20世紀初頭のヨーロッパでは、指揮者のいない10名前後の編成の「サロンオーケストラ」が盛んに行われていました。都市ごとに様々なサロンオーケストラがあり、ホールもさることながら、カフェ、オーブンスペース、公園、遊覧船の上、キャバレー、ダンスホール、映画館など様々な場所で演奏が行われ、夜毎人々はお酒と一緒にクラシック音楽や流行歌などを気軽に楽しみました。そんなかつてのヨーロッパのような「自然と音楽と融れ合える」環境を、私は日本にも作りたいと思い日々演奏活動をさせていただいています。

そのような誰でもが楽しめる親しみやすいオーケストラなのですが、実際に演奏するにはソロもアンサンブルにも対応でき、目には見えない「空気や身体、そして音楽の動きを感じる」という高度な技術が必要とされるものなのです。全員が同じ「意思」を持って作り上げる音楽には、とても大きな「感動」があります。その感動を地元愛南町の皆さんと一緒に共有できる事を心から楽しみにしています。



おじぎ草ペコリンコンと元気だよ
夏潮の沖を群れゆく海豚かな

吉田 朝子
吉田 弘定

◆檳榔子

梅雨あけをアメリカンブルー植えて待つ
三代目も建築科とか雲の峰

吉田 朝子

畦川の水車ゆつくり濃紫陽花
合歓咲いて夕暮をほのと向山

工藤ミエ子

故郷に浜木綿の香の校歌あり
物干しにプールの叱咤とどきけり

山口 堇

病む夫のもぎたてトマト朝の膳
茅屋の屋根の重さや苔の花

吉田モミ子

青葉潮浮かびし一句見失なう
茅屋の屋根の重さや苔の花

若林八重子

茅屋の屋根の重さや苔の花

山口 和子

◆御荘短歌会

ガンに倒れ八十路の叔父は逝きたまう働きたいといまわに言いのこし
絶対に家では見せぬ孫の顔「俳句甲子園」のディベートに見る

三好ミキ子

梅雨あけて朝光ひろがる屋敷田を舞いつつ燕が宙返りする
見覚えある義姉の袷で作られし小物入れを貰う三回忌会に

小島 泰子

我が家に二人の娘来て昼食会話のはずみ時の過ぎゆく
雨あがりの日差し強きに合歓の花緑の中に際立ちて見ゆ

濱野 康子

雨あがりの日差し強きに合歓の花緑の中に際立ちて見ゆ

西崎 文恵
宮下喜久子
斎藤トミ子
市川コマエ
佐藤 久子
高橋千代子

訂正とお詫び

広報「あいなん」8月号の「愛南文芸」コーナーについて、団体名「菊川俳句会」と「篠南川柳会」を逆に表記していました。正しくは22ページ上段10行目が「篠南川柳会」、同下段1行目が「菊川俳句会」です。訂正してお詫びします。

お誕生おめでとう

(7月受付分)

地区名	子の名	保護者
福 浦	森 雄 ^{ゆづ}	飛 望 ^{のぞみ}
増 田	増 岡 ^{あき}	稔 桜 ^{りゅうじ}
船 越	中 平 ^{しん}	純 平 ^{ひと}
増 田	青 木 ^{あき}	木 舜 ^{しゅん}
中 川	猪 野 ^な	波 美 ^{なみ}
御荘平城	久 徳 ^{ひさ}	湊 斗 ^{みなと}
垣 内	大 黒 ^{だい}	侑 侑 ^{ゆう}
城 辺 甲	宮 崎 ^{みや}	相 菜 ^{あい}
御荘平城	山 下 ^{かみ}	莓 果 ^{いち}

ご冥福をお祈りします

(7月受付分)

地区名	亡くなった方	享年
城 辺 甲	灘 岡 ^{なみ}	タカ子 ^こ 85歳
城 辺 乙	松 家 ^{まつ}	文 子 ^{ぶん} 94歳
正 木	田 中 ^{たなか}	ヨリエ ^こ 88歳
須 ノ 川	北 原 ^{きたはら}	明 子 ^{あき} 86歳
城 辺 甲	鎌 田 ^{かみ}	モ ト ^と 89歳
中 浦	大久保 ^{おおくぼ}	静 子 ^{しずか} 86歳
御荘平城	連 田 ^{れん}	好 子 ^{こう} 95歳
御荘菊川	大 黒 ^{だい}	昇 昇 ^{のぼる} 80歳
御荘平城	滝 口 ^{たき}	春 芳 ^{はる} 102歳
緑 乙	藤 時 ^{ふじ}	吉 昭 ^{よし} 75歳
広 見	宮 岡 ^{みや}	繁 臣 ^{しげ} 62歳
深 浦	中 尾 ^{なかつ}	庄 一 ^{しやう} 86歳
御荘長月	青 木 ^{あき}	建 建 ^{けん} 83歳
広 見	岡 原 ^{おか}	正 行 ^{まさ} 81歳
平 濤	中 尾 ^{なかつ}	カホル ^{ホル} 95歳
御荘平城	木 村 ^{きむら}	喜 喜 ^{よし} 93歳
御荘平城	三 好 ^{まさ}	一 昌 ^{かず} 85歳
高 畑	西 家 ^い	幾 男 ^{いく} 89歳
高 畑	山 本 ^{やま}	幸 子 ^{さち} 56歳
満 倉	山 本 ^{やま}	秀 吉 ^{ひで} 90歳
久 良	本 多 ^{ほん}	フミ子 ^こ 93歳
増 田	田 原 ^{はら}	昭 藏 ^{しやう} 81歳
久 良	本 多 ^{ほん}	寡 寡 ^{つる} 68歳
城 辺 甲	松 田 ^{まつ}	のぼる ^{のぼる} 84歳
御荘平城	嶋 野 ^{しま}	トシコ ^と 94歳
御荘平城	幸 田 ^{しげ}	重 人 ^と 80歳
城 辺 甲	山 岡 ^{やま}	サトミ ^さ 91歳
連 乗 寺	面 田 ^{めん}	征 生 ^{いく} 65歳
柏	好 岡 ^{こう}	五十香 ^{いそ} 87歳
家 串	前 田 ^{まえ}	ヤ ヨ 94歳
御荘長洲	福 本 ^{ふく}	トメコ 89歳

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。

戦没者遺児による慰霊友好親善事業！

(財)日本遺族会では、先の大戦で父等を亡くされた戦没者遺児の方々を対象に「慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善を図ることを目的としています。また、本年度は事業実施20周年記念事業として「洋上慰霊」を実施する予定です。

実施地域

①旧満州②旧ソ連③西部ニューギニア④中国⑤東部ニューギニア⑥フィリピン⑦トラック諸島⑧パラオ諸島⑨ソロモン諸島⑩ボルネオ・マレー半島⑪ミャンマー⑫インド⑬マリアナ諸島⑭マーシャル諸島⑮洋上慰霊(沖縄・台湾・バシー海峡・フィリピン沖・レイテ沖・小笠原方面の各海域)※なお、すでに申込が終了している地域もありますので、ご注意ください。

費用 参加費として8万円

問い合わせ

(財)日本遺族会事業課事業係

(TEL 03-33261155 21)

県立南宇和病院の「さわやか」医療情報

県立南宇和病院 眼科

浪口 孝治 先生



7月に赴任してきました眼科の浪口です。こちらに赴任する前は愛媛大学附属病院に勤務しておりました。

専門は眼科一般で、その中でも特に緑内障の治療に力を入れております。白内障手術も積極的に行っておりますのでどうぞ気軽に眼科受診をしていただければと思います。

もともと、生まれは愛南町内海ですので私にとっては久しぶりの里帰りということになります。少しでも地元のみなさまのお役にたてればと思っておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

心配ごと相談室

無料で民生児童委員2名が日常生活でかかえる心配ごととの相談をお受けします。

9月11日(土)・22日(水)

14時～16時

御荘老人福祉センター

福祉法律相談室

無料で弁護士と民生児童委員が相談をお受けします(1回の相談人数は8人までで事前に予約が必要。定員に達した場合は受付を終了)。

9月14日(火) 14時～16時

御荘老人福祉センター

詳しくは、社会福祉協議会本所(TEL70-1251)まで問い合わせください。